

農林水産・建設委員長報告

(下田利春委員長)

議案11件を原案可決

【議案第23号】南島原市空家等対策協議会条例の制定について

質疑 委員の選定は地域住民とか、各町ごとに選定するのか。また、どのような人選組織か。

答弁 市長、議会代表、自治会連合会の代表者、法務局、不動産関係等である。

質疑 指導・勧告・助言とか、最終的には執行とかを協議会で決定すると思うが、2年の任期は短いのではないか、根拠は。また、状況は自治

会の方が詳しい。連携はどうするのか。

答弁 初年度は空き家対策計画の作成を重視しておりいろんな分野の方を考えている。今後継続していく中で、地域の方例えば各町代表とか変更することは可能である。

【議案第18号】市道の認定について

質疑 現地は県道であり、6月の豪雨で被害が出ている。県からも数回来てもらい検討するとの前向きな答弁を頂いている。今回市道に認定したら市で工事をするようにならないのか、その確約は取れているのか。

答弁 市議会の議決を経て、市道認定の告示を行い県へ報告。県は6月の議会を目的に県道の廃止、譲渡申請はその後になるので、その間、県の

ほうで対応して頂く。

質疑 委員会でも県に対応していただくことが条件になるが良いのか。

答弁 結構だ。

賛成討論

県に工事をさせるのとこのことです。市道認定と言うことでお願いしたい。

【議案第19号】市道の認定について

質疑 他にも県道が残っているが全部は譲渡しないのか。

答弁 指摘の箇所は道路につながっていない。また、山止まりであり利用上の面から今回移譲は受けない。

【議案第20号】平成28年度南島原市一般会計補正予算(第6号)

質疑 新規工事や改良工事は地元住民が不便だから要望があがってくる。当初の説明会で、出来る要望、出来ない要望をはっきりしておかないから工事に着手してから、いろんな要望が出て工事が遅れ、繰越になるのではないのか。

答弁 昨年指摘されました。最初の説明会の折、地権者や管理者にもお願いをしている。繰越は27年度9億余りが28年度は5億程度まで減っている。言われたような思いは地元にも伝え、私たちが一生懸命に頑張っているが、やむを得ず繰越をしている。

質疑 5月31日以後、繰越計算書を議会に提出となるが、その時点までにどれくらい減るのか。

答弁 年内完成が6事業、8路線である。土地等が絡んだ繰越が14事業である。

【議案第27号】平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計予算

質疑 道路改良工費1億5,935万5千円は新たに何路線が工事をするのか。

答弁 住宅入口まで工事を延長し、利便性を図る等の工事であり、併せて25路線ほどの増額である。

質疑 治山事業の取下げの原因は。

答弁 行いたいとの要望で予算を取ったが、地元負担が高すぎるとの理由で取下げになった。

質疑 鳥獣被害の減額の要因は何か。

答弁 ワイヤーマッシュユ防護柵はある程度終わった。後は捕獲に力を入れるとのことで年々割り当てが減ってきている。



捕獲されたイノシシ

質疑 工事をしていく上で足りないから、一般会計から繰り入れ、地方債が必要になるが、使用料の負担など収入を考えるべきでは。

答弁 使用料の改定は基本料金を変えないで、超過分の値上げの試算を出して検討をしている。

質疑 管の老朽化による布設替えも必要となるが対策は。

答弁 国の補助が付くよう、アセットマネージメントを基に計画の見直しを行う。

意見 質疑応答でわかるように今後膨大なお金がかかる可能性がある。充分計画を立てて頂きたい。

質疑 加津佐の原水は使用しなくなるので、水質改善費は要らないのでは。

答弁 別に井戸が6本あり、減菌は必要である。また、鉄分濾過機も使う。

